



(前項の続き)

ることから、補助事業実施の成果について関係者から調査するとともに、関係農協から実施の意向を確認し、本村畜産業の振興の一環として、今後補助事業の導入など、その実現に向けて検討して行きたいと考えています。

農業編

質問5

今年の不順天候による農作物の被害状況と、それらに対する具体的な対応策について

古川村長

農作物等の被害状況については、稲作・畑作・牧草などに影響が出ています。この事態を踏まえ、村では9月9日に2回目の「農作物不順天候対策本部会議」を開催し、「農作物冷害対策本部」に切り替えして、農家の救済対策に万全を期していきます。今後、農作物の育成、被害状況の把握に努めるとともに、農家救済

の支援対策などの措置を検討します。

現時点で考えられる対策としては、水稻は種もみの確保のための支援対策及び共済金の早期支払いが可能となるよう関係機関へ要望していきま

す。畑作物は長いも等の種子確保対策が考えられます。牧草については冬季間における粗飼料の確保及び稲わらの確保対策等を考えています。

質問6

未舗装農道の整備と春先における農道除雪の実施について

古川村長

これまで幹線農道などの整備状況については、補助事業による農免農道整備事業と村単独事業で砕石敷きならしによる農道整備を実施してきました。

本年度は四〇〇〇万円の予算を計上し計画的に実施しています。今後の農免農道の整備計画については、補助制

度の活用を図り採択用件を満たす箇所があれば重点的に整備を進めて行きたいと考えています。

さらに、各地区からの整備要望を踏まえ簡易舗装事業などにより農道整備を進めて行きたいと考えており、農業基盤整備の安定と農業振興を図る観点から、未整備農道について整備を維持していきたいと考えています。

指摘のあった春先における農道除雪の実施については、農家の要望内容を把握し、実施方法について検討して行きたいと考えています。

後書

古川健治村長は岡山勝廣さんの質問に対し誠実に前向きなご回答をされました。

